

# 植物学者伊藤圭介と幻の瓦コレクション

伊藤圭介（1803～1901）は、名古屋の医師の家に生まれ、明治維新後は東京帝国大学に勤務するかたわら、小石川植物園などでの植物研究で実績をあげて日本最初の理学博士となった人物として知られています。一方、植物学のほか、地学、鉱物学、古物学など広範な知識を有し、博物学者としての側面をもっていました。

江戸時代末期以降、各所で行われた展覧会に、彼が家蔵の瓦を多数出品したことが記録に残されており、当時から有数の古瓦のコレクターとして知られていたことがわかります。所蔵品は200点以上におよんだといわれています。

彼の瓦コレクションは、死後にその一部が孫の篤太郎によって公開されたのを最後に、所在不明となっていました。ところが2011年、その一部が親族宅に残されていたことがわかり、その後、所有者の厚意によりかわら美術館に寄贈されることとなりました。瓦にとっては110年ぶりの愛知への里帰りとなったわけです。

本展覧会では、この伊藤圭介コレクション総数140点を、一挙公開します。このコレクションは古代から近世まで幅広い時代にわたっています。そこには奈良・京都の有名寺院の瓦から、尾張国分寺や熱田神宮など、地元愛知にゆかりの瓦までさまざまなものがあり、その好奇心の旺盛さをうかがわせます。

展示では肖像画や遺品、絵画、著作など関連資料も紹介します。愛知の偉人伊藤圭介の愛した瓦を、この機会にぜひご覧ください。

**開催期間** 5月30日（土）～7月5日（日）

**観覧時間** 午前9時～午後5時  
（観覧券の販売は午後4時30分まで）

**観覧料** 高校生以上200円（160円）、中学生以下無料  
※（ ）内は20人以上の団体料金、および市内在住の方の割引料金

**休館日** 月曜日



押印蓮華文軒平瓦（愛知・医王寺出土／白鳳時代）

## | 関 | 連 | 行 | 事 |

### ①レクチャータイム「伊藤圭介の瓦コレクション」

**日時** 6月14日（日） 午後2時～  
**場所** 3階講義室  
**講師** かわら美術館学芸員  
**参加費** 無料  
**募集人数** 40人  
**申込** 5月15日（金）午前9時より  
電話にて受付

### ②ワークショップ「瓦の拓本を採ろう」

**日時** 6月7日（日） 午後2時～  
**場所** 3階講義室  
**参加費** 500円（実費）  
**募集人数** 10人  
**申込** 電話にて受付中

### ②ギャラリートーク（予約不要）

**日時** 6月21日（日） 午後2時～  
**場所** 展覧会会場  
**参加費** 無料  
（ただし当日観覧券が必要）

※詳しくは、問い合わせてください。

**申込・問合せ先**  
かわら美術館 ☎52-3366